

申請日 令和 年 月 日

大阪教育大学長 殿

所 属 学部(昼 間 ・ 夜 間) ・
 大学院(教育学研究科 ・ 連合教職大学院) ・ 特別支援専攻科

学 籍 番 号 _____

本 人 氏 名 _____
 (自署)

令和5年度 前期分授業料免除申請願 (家計急変)

私は、下記理由により、令和5年度前期分授業料免除の申請をいたします。
 なお、結果が判明するまで授業料の徴収を猶予願います。

理 由

- ◆ (家庭事情) については、本人が家庭事情を詳しく記入してください。
 記入のない場合又は簡潔すぎる場合は不備とみなし、申請を受け付けないことがあります。
- ◆ 主たる家計支持者が無職・失職の場合は、(家庭事情)にその間の生活費の出所を詳細に記入してください。

申請理由：新型コロナウイルス感染症の影響による経済的理由によって授業料の納付が困難である者

*1 全員 → 授業料徴収猶予について ※ (徴収猶予を希望します。 ・ 徴収猶予を希望しません。)

※いずれか該当する方を○で囲んでください。
 ○がない場合は「徴収猶予を希望しません」として取り扱います。

*2 学部生のみ→裏面の「高等教育修学支援新制度への申請状況に関する申告」も記入してください。

(家庭事情) _____

学部学生のみ記入

(様式1-4 裏面)

高等教育修学支援新制度への申請状況に関する申告

令和5年度前期授業料免除申請にあたり、高等教育修学支援新制度の申請状況について、下記の通り申告します。
(徴収猶予のみ申請の方は記入不要です。)

記

(該当する部分にチェックを入れてください。)

- 現在、高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構 給付奨学金）の奨学生である。
(奨学生番号 52 _ _)
※「52」以外で始まる番号は不可
- 以下の事由に該当するため、高等教育修学支援新制度に申請することができない。
- 日本国籍を有しておらず、かつ在留資格が「法定特別永住者」「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」以外
※在留カードの写しなど、在留資格を確認できる書類を添付
 - 過去に高等教育修学支援新制度の適用を受けたが、学業適格認定により「廃止」となった
 - 高等学校卒業から大学に入学するまでの期間が2年を超えている（主に編入学者）
※高等学校卒業から本学入学までの学歴を記載したもの（任意様式）を添付してください。
 - 修業年限を超えている
(休学など特別な事由があると認められる者を除く)
 - 保有資産が2,000万円（生計維持者が1名の場合は1,250万円）を超えるため、高等教育の修学支援新制度に申請
※申請ができなかった旨の書類（スカラネット入力画面等）を添付してください。
 - 令和4年度後期に高等教育の修学支援新制度を申請したが、「家計基準」を理由に不採用となった者
(家計基準以外の理由で不採用となった場合は、新規に申請が必要です。)
 - 家計急変の事由が発生してから3か月以上が経過している
- 令和5年度前期の高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構 給付型奨学金）に申請する予定である。
なお、4月28日（金）までに申請（申請書の提出、スカラネットによる入力、マイナンバーの機構到着）が行われなかった場合は、授業料免除の選考対象とならないことを確認しています。

本人氏名 _____
(自署)